

月例会「長期予報と大気大循環」の講演募集のお知らせ

標記月例会を下記のとおり開催いたしますので奮って
ご応募ください。

記

日 時：1986年2月25日(火) 13:30~17:00

場 所：気象庁

申込方法：題目、講演者氏名、所属と要旨を400字以内

にまとめて提出

申 込 先：〒100 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁予報部長期予報課 青木 孝

TEL 03-212-8341 内線 330

講演申込締切日：1985年12月16日

編集後記：神無月の十月は、各地で稲の収穫を祝う祭りが行われる。神嘗祭をはじめ、長崎おくんち、高山祭、お会式、時代祭、鞍馬の火祭とつづき、秋は急速に深まっていく。外国の祭りでは、昨年学会出席の際に訪れたミュンヘンの Oktober Fest (ビール祭り) が印象深かった。日本の和菓子は季節を映して種々のものが作られているが、十月は和菓子ごよみでいうとくずもちがその代表となる。ドイツやスイスではこの時期、チョコレート屋の店先に栗の形をしたチョコレートが並ぶ。街

頭に焼き栗屋が並ぶのもこの季節である。

さて今年の秋季大会には213件の発表があり、毎日のことながら、3日間の会期に入れるためプログラム編成は苦勞したようすである。国際学術連合(ICSU)は核の冬に対する報告書を発表、新聞報道では核戦争により大きい気候変動が起こることを警告している。人類栄え、地球滅亡という事にならぬよう気象学研究者も広い関心をもちたいものと思う。(長)